

読むまえに...

- ① 手順の説明：これからすることを子どものやる気が増すように楽しく説明する。



これから本と一緒に読みましょう。はじめは私が読んで、そのあとを〇〇さんに読んでもらいますね。読み終わったら、どんなお話だったか話しましょう。

- ② テキスト選び：いっしょに読む本を選ぶ。

・テキストを子どもにわたす。



これは『あつまれ、楽器』というお話です。どうですか。読めそうですか。もう少しやさしい本にしますか。

・1ページ目(46ページ)の3文を音読させ、読み続けるかテキストを変えるかを子どもに選ばせる。



はじめだけ少し読んでみて、決めましょう。ここ(3行目)までを声に出して読んでみてください。

・子どもが読むのを聞く。読み終わったら、もう一度、次のように質問をする。



最後まで読めそうですか。

・「読める」と言った子ども ⇨ そのままこの実践ガイドにそって進む。

・「読めない」と言った中学年以下の児童 ⇨ [レベルBのテキストへ](#)

・「読めない」と言った高学年児童⇨DLA〈読む〉を終了する。

- ③ 興味・関心：テーマについて知っていることを確認し、興味・関心を高める。

・次のことばの理解を確認し、知らない場合は教える。



「楽器(がっき)」を知っていますか。どんな楽器を知っていますか。「フライパン」「わゴム」「ストロー」を知っていますか。

- ④ 予測：テキストの絵を見せ、テーマについて予測させる。



絵を自由に見ていいですよ。これはどんなお話だと思いますか。

メモ：

このテキストは、ひらがな、カタカナの習得を終え、単語や文節で区切って読めるようになっている児童に適している。長さは、レベルC1のテキストよりも短い、説明文であり、構成の理解が求められるため、低年齢の子どもにとってはレベルC1よりも内容理解が難しい場合が多い。小学2年生用教材だが、滞日期間の比較的短い高学年の読書力診断にも応用可能である。このテキストを選んだ高年齢の児童の場合、母語での読む力・話す力のほうが高いケースが多い。

母語の読む力が発達している子どもは、音読の流暢度や日本語でのあらすじの再生力が不十分であっても、内容をよく理解できている場合もある。その場合、最後に母語であらすじ再生を求めたり、話し合ってもかまわない。最後に子どもが「読めた」「話せた」という達成感をえられるようサポートする。

読みましょう...

- ① 読み聞かせ：最初は実施者が読み、子どもはテキストを見ながら聞く。  
 ・テキストを子どもに見せながら、実施者が初めから47ページの最後まで声にだして読む。



ではこれからいっしょにこの本を読みましょう。はじめは私が読みますね。後でどんなお話か聞きます。しっかり聞いていてください。

- ② 音読：続きを子どもが読む。

・48ページの初めからテキストの最後までを子どもに読ませる。



これから〇〇さんに読んでもらいます。ここから最後まで声に出して読んでください。もし分からないことばがあったら聞いてください。後でどんなお話だったか聞きますね。しっかり読んでください。では始めましょう。

・実施者は音読の区切り方やつまずいた時にどのように対処するかということに注意しながら聴く。  
 (特に訂正や指導はしない)  
 ・終わったら、声かけをする。



とても上手に／頑張って、読めましたね。

話しあいましょう...

- ① あらすじ再生：テキストをとじて、子どもがテキストの内容を再生する。  
 実施者は「それから？」などと声かけをしつつ、子どもの話を最大限に引き出す。



ではこのお話はどんなお話でしたか。はじめてこのお話を聞く人にわかるように話してください。終わったら『終わりです』と言ってください。はい、どうぞ。

・下の『あらすじチェック』を参考に、どのくらい理解できているかをチェックする。  
 重要な内容をふまえて、まとめて言ってもよい。下記のようなテキスト通りの言い方でなくともよい。

あらすじチェック

- 1. フライパン、わゴム、ストローは三つとも楽器としてつかうことができます。
- 2. 楽器は音の出し方で三つのなかまに分けられます。
- 3. 一つはたたいて音を出す楽器です。
- 4. たいこや木きん、フライパンもこのなかまです。
- 5. もう一つは糸をはじいたりこすったりして音を出す楽器です。
- 6. ギターやバイオリン、わゴムもこのなかまです。
- 7. さいごは、いきをふきこんで音を出す楽器です。
- 8. ふえやラッパ、ストローもこのなかまです。
- 9. 楽器を作って、音楽会をひらいてみましょう。

② 理解を深めるやりとり：話し合いながら、理解を深める。

・再生した内容に次のような情報が含まれていなかった場合に質問をする。



たくさん／頑張って／上手にお話できましたね。今度は少し質問しますね。

質問

解答例

- |   |   |
|---|---|
| <p>1. フライパンとわゴムとストローは、同じことに使います。何に使いますか(何になりますか)。</p> <p>2. 楽器は三つのなかまに分けられます。どんななかまですか。</p> <p>3. この三つのなかまは、どこ(何)がちがいますか。</p> <p>その他の質問(自由)</p> | <p>1. 楽器</p> <p>2. たいこや木きん、ギターやバイオリン、ふえやラッパのなかま。／たたいて音を出すなかま、糸をはじいたりこすったりして音をだすなかま、いきをふきこんで音を出すなかま。</p> <p>3. 音の出し方</p> |
|---|---|

③ 解釈・感想：お話を読んで、また、自分の体験と結びつけて、感じたことを話し合う。



このお話は面白かったですか。 どこが一番面白かったですか。  
 どうして(そこが一番面白かった)ですか。 思い出したことや考えたことはありますか。

・高学年には、次の質問をする。



このお話を書いた人が伝えなかったのはどんなことでしょうか。 どうしてそう思いますか。

読んだあとで...

① ふり返り：全体をふり返り、良いところを見つけてしっかりほめる。



はい、これで終わりです。頑張りましたね。難しかったですか、簡単でしたか。  
 ○○さんはとても上手に／頑張って○○できましたね。○○がよくわかっていますね。

・高学年の場合は、自分がどのように読んでいるかを意識させる。



では(内容で)わかりにくいところがあったら、どうしますか。(読み返す、イメージする、具体例を考える、誰かに聞く、そのまま読み続ける など)  
 わからないことばがあったときはどうしていますか。(読み返す、絵をみる、声に出して言う、推測する、絵を見る、誰かに聞く、そのまま読み進める、辞書を使う など)  
 ○○語を使って考えたりしましたか。(した場合は例えばどの場面でどのようにしたか)

② 読書習慣：本や本を読むことについて話し合い、読書への興味・関心を高める。



本は好きですか。よく本(教科書ではない本)を読みますか。  
 自分で読むのと、お話を聞くのとどちらが好きですか。  
 おうちの人に○○語／日本語の本を読んでもらいますか。  
 どんな本(お話の本、絵本、クイズ、めいろ、ずかん、マンガなど)が好きですか。  
 好きな本の名前を教えてください。(わかれば)

・母語での読みの力が高い子どもには、次のような質問をしてもよい。



○○語ではよく本を読みますか。  
 ○○語でどんな本を読みますか(絵本、図鑑、物語、説明、教材、インターネットなど)  
 一週間にどのくらい○○語で本を読みますか。



ではこれからたくさん本を読んでください。ありがとうございました。